

2025年3月期 第2四半期

# 決算説明資料

2024年11月14日

エンシュウ株式会社

(東証スタンダード 6218)

# INDEX

1. 連結業績サマリー
2. 部品加工事業
3. 工作機械事業
4. 配当予想
5. 参考情報

## 将来見通しに関する注意事項及び免責事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

# 1. 連結業績サマリー：通期連結業績

2024年度  
決算要旨

## 通期見通し：工作機械事業の売上減少により、業績予想下方修正(通期赤字)

- ・ 上期実績は、工作機械事業の赤字幅拡大および部品加工事業の利益減少により減収減益
- ・ 下期見通しは、部品加工事業が大幅増収増益、工作機械事業の黒字化を見込む
- ・ 通期業績予想は最終赤字となる見通し

(単位:百万円)	2023年度 上期実績	2023年度 下期実績	2024年度 上期実績	2024年度 下期見通	2023年度 通期実績	通期業績予想 11/14修正	通期業績予想 8/9公表
売上高	11,806	12,285	11,159	11,640	24,091	22,800	25,700
工作機械事業	5,654	6,059	5,230	5,270	11,714	10,500	12,800
部品加工事業	6,115	6,190	5,894	6,300	12,306	12,200	12,800
営業利益 (営業利益率)	247 (2.1%)	293 (2.4%)	△476 (△4.3%)	580 (5.0%)	540 (2.2%)	100 (0.4%)	600 (2.3%)
工作機械事業	△124 (△2.2%)	25 (0.4%)	△532 (△10.2%)	120 (2.3%)	△98 (△0.8%)	△410 (△3.9%)	130 (1.0%)
部品加工事業	346 (5.7%)	243 (3.9%)	30 (0.5%)	430 (6.8%)	590 (4.8%)	460 (3.8%)	420 (3.3%)
経常利益	228	157	△611	440	386	△170	380
当期純利益	90	130	△626	330	221	△300	300
為替レート (USD/JPY) (EUR/JPY)	139 151	148 159	154 167	149 163	143 155	149 163	147 160

## 2. 部品加工事業：連結売上高・営業利益

### 第2四半期実績

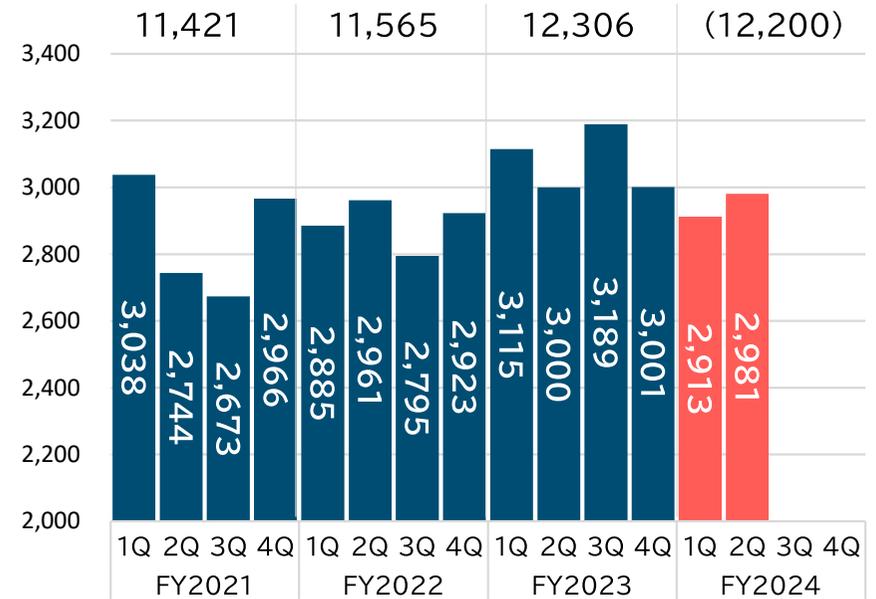
#### 主要顧客の生産調整の影響により減収減益

- ・ ATV、船外機関連の客先生産調整等により減収減益
- ・ 新規案件の生産準備コスト増もあり一時的に減益

### 下期業績見通し

#### 新規案件の稼働本格化等により大幅増収増益

- ・ 一部の生産調整局面は継続も、全体の仕事量は増加傾向
- ・ 新規案件の稼働本格化等により収益は改善の見通し
- ・ 増収効果、コストダウン活動の継続により採算改善



(単位:百万円)	2023年度 上期実績	2023年度 下期実績	2024年度 上期実績	2024年度 下期見通	2023年度 通期実績	通期業績予想 11/14修正	通期業績予想 8/9公表
売上高	6,115	6,190	5,894	6,300	12,306	12,200	12,800
営業利益	346	243	30	430	590	460	420
営業利益率	5.7%	3.9%	0.5%	6.8%	4.8%	3.8%	3.3%

### 3. 工作機械事業：連結売上高・営業利益

#### 第2四半期実績

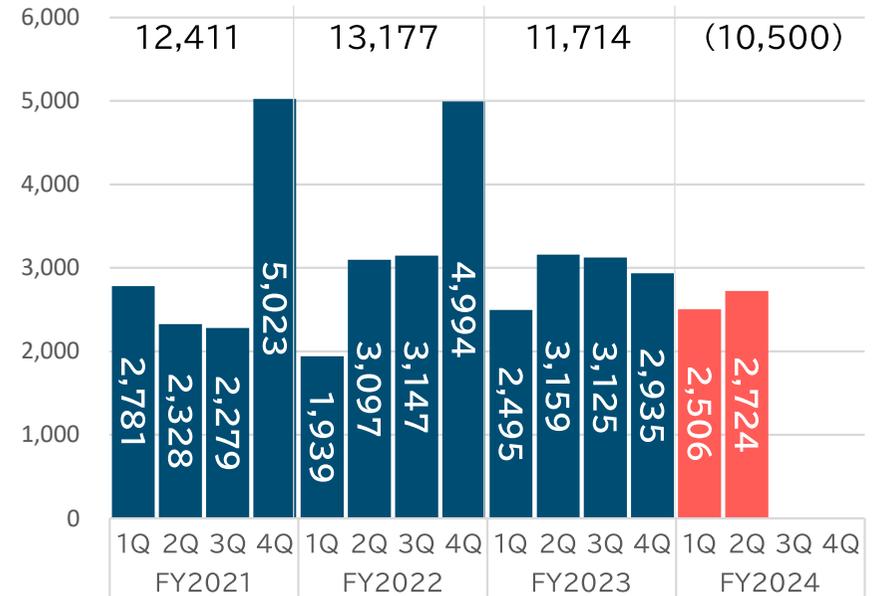
#### 北米向け売上が落ち込み減収減益

- ・米大統領選を控えた投資決定の遅れにより北米売上が減少
- ・新規開発コストが前期比で増加し利益を圧迫

#### 下期業績見通し

#### システム案件の採算良化により営業利益黒字化

- ・北米、国内向けのシステム案件により採算改善
- ・サービス部品の生産強化により保守サービス売上伸長
- ・人員の再配置、徹底した経費削減等によりコスト削減効果



(単位:百万円)	2023年度 上期実績	2023年度 下期実績	2024年度 上期実績	2024年度 下期見通	2023年度 通期実績	通期業績予想 11/14修正	通期業績予想 8/9公表
売上高	5,654	6,059	5,230	5,270	11,714	10,500	12,800
営業利益	△124	25	△532	120	△98	△410	130
営業利益率	△2.2%	0.4%	△10.2%	2.3%	△0.8%	△3.9%	1.0%

### 3. 工作機械事業：地域別連結売上高

#### 第2四半期実績

#### 前年同期比国内増加も海外売上減少

- ・国内:システム・レーザー関連の売上増加
- ・アジア:(インド)大型システム案件により売上増加  
(ASEAN)前期大型案件売上による反動減
- ・北米:米国増加も、メキシコ・カナダで前期比大幅減

#### 下期業績見通し

#### 国内横ばい、海外は北米向け増加

- ・国内:医療業界向け専用機売上増加、保守サービス増
- ・北米:大型システム案件を売上見込
- ・アジア:(中国)需要低迷が続き売上減

(単位:百万円)	2023年度 上期実績	2023年度 下期実績	2024年度 上期実績	2024年度 下期見通	2023年度 通期実績	通期業績予想 11/14修正	通期業績予想 8/9公表
売上高	5,654	6,059	5,230	5,270	11,714	10,500	12,800
国内売上	2,049	3,153	2,302	2,260	5,202	4,560	5,702
海外売上	3,605	2,907	2,928	3,010	6,512	5,940	7,098
アジア	1,763	1,178	1,684	1,280	2,941	2,960	3,989
北米	1,615	1,278	976	1,630	2,894	2,610	2,805
欧州	226	450	269	100	673	370	304
営業利益	△124	25	△532	120	△98	△410	130
営業利益率	△2.2%	0.4%	△10.2%	2.2%	△0.8%	△3.9%	1.0%

### 3. 工作機械事業：連結受注高推移

#### 国内・海外ともに前期比減少

- ・受注を見込んでいた大型案件の計画延期・変更等が響き受注獲得に苦戦
- ・国内外展示会で得た引合情報をもとに、受注回復を図る
- ・海外市場は北米、インド地域の営業活動に注力

(単位:百万円)	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前期比 増減率	2024年度 通期目標	【参考】日工会受注推移		
					(単位:百万円)	2024年度 第2四半期	増減率
受注高総額	7,237	3,532	△51.2%	8,100	受注高総額	739,320	+0.3%
国内受注高	3,145	1,406	△55.3%	3,400	国内受注高	221,443	△7.9%
海外受注高	4,092	2,126	△48.0%	4,700	海外受注高	517,877	+4.3%
受注残高	7,496	3,864	—	3,200	自動車(国内)	46,783	△6.2%

※集計期間:本社・子会社(日・印):4月~9月、子会社(日・印除く):1月~6月

## 3. 工作機械事業：工作機械事業黒字化に向けた取り組み

### ■工作機械事業の現状

- ・近年売上が落ち込んでおり、売上の減少に伴い損益も低迷
- ・国内：内燃機関 ⇒ EV化投資への切り替えが進む中で投資が端境期となっている
- ・海外市場：中国市場の景気停滞や、北米地域での大統領選を控えた投資決定遅れ

⇒工作機械事業の来期以降の黒字化を確実なものとするため、新たな取り組みが必要

### ■工作機械事業黒字化に向けた取り組み

#### (1) 人員の適正化

受注の変動に強い収益体質への転換を進め、現状の売上規模に合った体制を構築することにより、損益分岐点を引き下げ

- ① 全社ベースで希望退職募集  
満50歳以上の正社員・シニア社員を対象、募集30名程度
- ② 人員の再配置  
売上が伸びている部品加工事業、好調なECCへの人員異動

### 3. 工作機械事業：工作機械事業黒字化に向けた取り組み

#### (2) 売上回復に向けた取り組み

売上の確保と収益率の改善に向け、既存事業を含め以下の5つの事業を推進

①システム工作機械	得意とするシステム工作機械は国内、北米(含むメキシコ)、インドに注力
②顧客共同での開発型機械製造	既の実績を上げている医療分野など、自動車業界に限らず様々なお客様の専門的なニーズに対応
③レーザー加工システム事業	EV化に伴う部品の軽量化やCO2削減のニーズに対応
④SIer&IoT事業	SIer子会社であるエンシュウコネクティッドを中心として、自動化・省人化施策であるSIer&IoT事業を拡大
⑤保守サービス事業	主要顧客への対応をはじめとして、きめ細かな保守サービス事業を展開

## 4. 配当予想（修正）

### ●普通株式に係る年間配当

2025年3月期末配当につきましては、通期業績予想や安定的な株主還元等を勘案し、配当金の予想を1株当たり10円に修正させていただきます。

	普通株式1株当たり配当金					
	2021年 3月期末	2022年 3月期末	2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年3月期末 11/14 修正予想	2025年3月期末 8/9 前回予想
普通配当	円銭 5.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 10.00	円銭 14.00
配当性向	12.6%	22.1%	—	37.0%	—	29.4%
配当利回り	0.51%	1.81%	1.93%	1.89%	1.61%	1.95%
DOE (自己資本配当率)	0.3%	0.8%	0.7%	0.7%	—	—
当期純利益	250	370	△104	221	△300	300

## 5. 参考情報：会社概要

商 号	エンシュウ株式会社
証券コード	東証スタンダード 6218
設 立	1920年2月5日
本社所在地	〒432-8522 静岡県浜松市中央区高塚町4888番地
代 表 者	代表取締役会長 勝倉 宏和 代表取締役社長 鈴木 敦士
資 本 金	46億4,085万円
連結子会社数	10社（海外9社）
従 業 員 数	990名（連結） ※2024年9月末
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工作機械及び部品の製造並びに販売</li> <li>●二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー マリン及び四輪車の部品加工</li> </ul>
決 算 期	3月末
単 元 株 式 数	100株

# Make a New Enshu for the World's Manufacturing.

私たちは3つの挑戦により、世界のモノづくりに貢献します

1. 社員一人一人が新しいモノづくりに挑戦します
2. 常により高いレベルの品質とコストに挑戦します
3. 3事業のシナジー発揮に挑戦します

(部品加工事業、工作機械事業、システムインテグレーター事業)

